



大下 郁子 (おおした いくこ)

(学歴及び経歴)

- 2007年 京都大学大学院人間・環境学研究科共生文明学専攻博士後期課程修了
(人間・環境学博士、日露交流史専攻)
- 2007年 愛知産業大学非常勤講師(歴史学)
- 2007年～2010年 日本学術振興会特別研究員(国際日本文化研究センター所属)
- 2018年 日本語教育能力検定試験合格

(主な業績)

論文

- 「日露戦争と仏教思想—乃木将軍と太田覚眠の邂逅をめぐって」(軍事史学会編『軍事史学』2005年)
- 「日露戦争における太田覚眠によるシベリア残留邦人帰国支援活動」(ロシア史研究会編『ロシア史研究』2006年)
- 「浦潮本願寺の成立と発展」(日本近代仏教史研究会編『近代仏教』2007年)

著書

- 『太田覚眠と日露交流—ロシアに道を求めた仏教者』(ミネルヴァ書房、2006年)

編著

- 『太田覚眠全集』全5巻(株式会社オンブック、2009年～2010年)

* 講師からのメッセージ

留学生の皆さん、はじめまして。日本語論文指導講師の大下郁子です。

留学生の論文やレポートを読ませていただいて、いつも感じるのは、内容が論理的、実証的、かつ独創的で、本当に素晴らしいということです。誤解を恐れずに言えば、日本人の学生の文章よりずっと面白いと思います。しかし、日本語の論文の書き方の基礎が身に付いていない、日本語の論文表現が不自然である等が原因で、内容の面白さが伝わらないだけでなく、文章そのものの評価が下がり、損をしているケースが多いです。これはとても残念なことだと私は思います。

本講座では、日本語論文の書き方や日本語論文表現の基礎を、マンツーマンで実践的に指導いたします。留学生の皆さんが日本語論文のスキルを身に付け、あなたの論文の面白さがより多くの日本人に伝わるためのお手伝いできれば幸いです。

皆様のご受講を、心よりお待ちしております。